

# 自然体験事業 広がりに

日本環境教育

フォーラム



完走し、寄付してくれた人への感謝を込める加藤さん

公益社団法人「日本環境教育フォーラム」(東京都)

の職員で、子ども向けの自然体験事業などを担当する加藤超(たかひろ)さん(28)は、6時間2分49秒で完走した。チャリティーランナーとして2度目の出場を果たし、「寄付してくれた人たちの顔を思い出し、走り切れた」と振り返った。

高校時代に留学した中国では、大気汚染などが社会問題になっていた。大学で環境教育を学んだのは、「幼い頃から自然の素晴らしさを伝えることで、環境破壊を防ぎたい」と考えたからだ。大学卒業後に青年海外協力隊員となり、ヨルダンで子どもたちにリサイクルの重要性などを教えた。

そんな経験を生かしたいと、同法人に入ったのは3年前。「子どもたちが環境に興味を持ち、自然に触れ合える社会」の実現を目指してきた。

今回、大阪マラソンEXPOのブースでは来場者に活動内容を紹介。他の寄付先団体と連携した自然体験事業が始まり、活動の幅も広がる。加藤さんは「大会をきっかけに、事業をさらに充実させたい」と語る。

